
サイ クロス エクス ペンス
電通総研、経費精算システム「Ci* X Expense」をはじめとする
「Ci*X」シリーズをコマツが採用

- ワンプラットフォームで経費精算・ワークフローの業務効率化を推進 -

テクノロジーで企業と社会の進化を実現する株式会社電通総研(本社:東京都港区、代表取締役社長:岩本 浩久、以下「電通総研」)は、株式会社小松製作所(本社:東京都港区、社長:今吉 琢也、以下「コマツ」)が、経費精算システム「Ci*X Expense(サイクロス エクスペンス)」、汎用ワークフローシステム「Ci*X Workflow(サイクロス ワークフロー)」、自動仕訳システム「Ci*X Journalizer(サイクロス ジャーナライザー)」の3製品を採用したことをお知らせします。

本システムは、コマツの国内グループ14社、従業員約28,000名が利用するもので、2026年5月に本稼働する予定です。



■ 背景

コマツは、2027年度までの中期経営計画「Driving value with ambition 価値創造への挑戦」において、「経営基盤の革新」を成長戦略の一つに掲げ、その重点活動として基幹システム刷新によるグループ全体での最適な統合環境の構築に取り組んでいます。今般の「Ci*X」シリーズ採用はこのような取り組みの一環となるもので、既存の経費精算システムおよびワークフローシステムの刷新を実施し、運用コストの削減と業務効率化を目指します。

■ 「Ci*X」シリーズ採用のポイント

1. 経費精算システムとワークフローシステムをワンプラットフォームで提供

従前は別々のシステムを利用していた経費精算とワークフローを、経費精算システム「Ci*X Expense」、汎用ワークフローシステム「Ci*X Workflow」を採用することで、「Ci*X」シリーズとしてワンプラットフォームで運用できる点が高く評価されました。これにより、ユーザーやシステム管理者は別々のシステム操作を覚える必要がなく、誤入力によるミスを軽減することに加え、申請フローの作成やマスタの設定などメンテナンス性の向上も実現します。

2. 「Ci*X Journalizer」による ERP システムとの連携

自動仕訳システム「Ci*X Journalizer」を活用することで、システム間の連携を柔軟に実現可能で、経費精算システム

と連携する周辺システムのデータ構造やマスタ設定に変更があった場合でも迅速に対応できる点が評価されました。また、「Ci*X Journalizer」による ERP との豊富な連携実績も採用のポイントの一つとなりました。

3. クラウドサービス「Ci*X PAS」の活用でインフラ構築・運用負荷を軽減

今回システムを構築した「Ci*X PAS(サイクロス パス)」は、電通総研が提供するクラウドサービスです。セキュアかつ堅牢なプライベートクラウドで、インフラ基盤の構築からアプリケーションの運用までワンストップで支援します。シングルテナント型のため、バージョンアップのタイミングを自社に合わせて行うことができる点が採用のポイントになりました。

4. 申請数に依存しない料金体系

「Ci*X」シリーズは、申請数に依存しない、利用ユーザー数に応じた料金体系を採用しています。申請数の上限なく申請可能なため、あらかじめランニングコストを試算でき、従前のシステムに比べコストを低減できる点も評価のポイントとなりました。

5. 電通総研の一気通貫したサポート体制

電通総研のコンサルタントが同社の要件把握と導入支援を行い、導入後も一定期間、安定稼働に向け支援する一貫したサポート体制が評価されました。

電通総研では、今後も「Ci*X」シリーズをはじめとした会計領域のソリューションを提供し、顧客企業の経理業務の高度化・効率化に貢献してまいります。

<ご参考資料>

・「Ci*X」シリーズについて <https://gms.dentsusoken.com/cix/>

「Ci*X」シリーズは、グループ経営に求められる高度な業務要件に対応する各種機能と、社員の働きやすさや生産性向上を実現する優れたユーザーインターフェースを備えた、これまでにない革新的なエンタープライズソリューションです。現在、経費精算システム「Ci*X Expense」、汎用ワークフローシステム「Ci*X Workflow」、グループ統合会計システム「Ci*X Financials」、資金管理システム「Ci*X Treasury」、自動仕訳システム「Ci*X Journalizer」、の 5 製品を提供しています。

2025 年 5 月 29 日

[「Ci*X Expense\(サイクロス エクス Pens\)」がセブン&アイ・ホールディングスで稼働](#)

2025 年 4 月 17 日

[電通総研、経費精算システム「Ci*X Expense\(サイクロス エクス Pens\)」をはじめとした「Ci*X」シリーズ 3 製品の最新版を提供開始](#)

■電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という 3 つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

- * 電通国際情報サービス(ISID)は、電通総研へ社名を変更しました。
 - * 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
-

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 グループ経営ソリューション事業部 営業ユニット 営業2部 鈴木、檜本

TEL: 03-6713-7101 E-Mail: g-cix@group.dentsusoken.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 野瀬

TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com